

2 市民生活と観光が調和する持続可能な観光都市の実現に向けた支援の充実

近年の外国人観光客の急増等に伴い、京都市域において、観光客のマナー問題や、一部の観光地での混雑等の問題が喫緊の課題として生じています。

京都市では、これまでからも、違法「民泊」の根絶をはじめ、市民生活と観光の調和を大前提に、地域経済の振興や市民生活の豊かさの向上につなげることに重点を置きながら観光政策を進め、住む人も訪れる人も気持ちよく共存できるよう、様々な施策を展開してきましたが、本年5月には新たに「市民生活と調和した持続可能な観光都市」推進プロジェクトチームを庁内に立ち上げ、現在、全力を挙げて取り組んでいるところです。

「観光立国・日本」の実現への牽引役を果たす京都、そして、全国各地の観光地での同様の課題解消に向けた取組を一層効果的に進められるよう、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- (1) 発地・着地における外国人観光客に対する日本の習慣・制度やマナー、手ぶら観光等の統一的な周知・啓発活動の強化
- (2) AI等を活用した混雑対策の取組等への支援
- (3) 違法「民泊」の根絶及び「民泊」の適正な運営の確保に向けた、国における指導監督の徹底、地域の実情を踏まえた法制度への見直し等

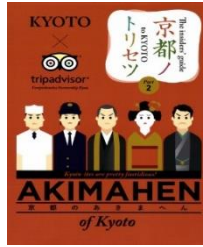
(観光庁)

本市の取組

近年の外国人観光客の急増等に伴い生じている、観光客のマナー問題、一部の観光地の混雑、違法「民泊」等の問題の解消に向け、庁内にプロジェクトチームを立ち上げ、次の施策等に取り組んでいる。

<マナー対策等>

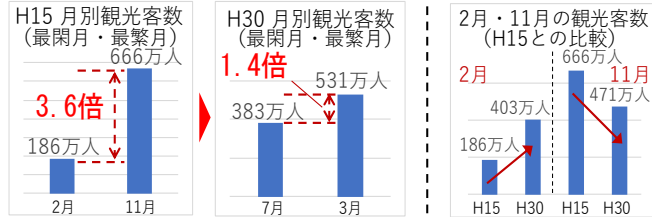
- 外国人観光客等への日本・京都のマナーや習慣などの周知・啓発活動を次のとおり実施
 - ・トリップアドバイザー等と連携した、リーフレット（「京都のトリセツ」）の作成、ホームページ上での周知、LCC機内誌へ啓発記事の掲載
 - ・国の実証事業を活用した祇園町南側地区でのスマホへのプッシュ配信等による周知・啓発
 - ・旅行業界等へのマナー啓発に係る協力要請
 - ・「ENJOY RESPECT KYOTO」ステッカー作成及びマナー動画の作成
 - ・ホームページ「Hands Free Kyoto」の開設 及び手ぶら観光PR動画作成・発信 等



<一部の観光地の混雑対策>

- 京の七夕、京都花灯路、朝・夜観光、とっておき京都プロジェクト※など、時期・時間・場所の3つの集中の分散化の取組を実施
 - ※ 新たな観光の魅力づくりにつなげるため、伏見、大原、山科等の場所の分散化の取り組み活動

<時期の分散化の取組による効果>



- さらに、国の実証事業の成果を踏まえ、今年度からは、スマホの位置情報、天気、曜日、時間等のビッグデータを基に、AIを活用した観光快適度の予測による分散化事業を実施

<違法「民泊」対策>

- 平成29年度から「民泊」対策の専門チームを設置し、平成31年4月1日からは46名の専任職員を配置するなどの更なる体制強化により、違法な「民泊」の根絶や、宿泊施設の適正な運営の確保の取組を充実して実施
- 平成28年4月から令和元年8月末日までに本市に無許可営業疑いの通報があった2,568件のうち、99%に当たる2,548施設について営業中止等に。
- 京都市「民泊」対策等連絡協議会を設置し、京都府警察と宿泊施設に関する情報共有など連携を図る中で、実際に検挙する事例も出てきている。

こうした対策を更に推進・拡大していくために・・・

要望

- ① 発地・着地における外国人観光客に対する日本の習慣・制度やマナー、手ぶら観光等の統一的な周知・啓発活動の強化**
 - ・JNTO海外事務所、エアライン、空港や港湾などにおける、国を挙げたマナー啓発等の実施
 - ・各地域の実情に応じたマナー対策に活用できる財政支援制度の創設
- ② AI等を活用した混雑対策の取組等への支援**
 - ・AIやICT、ビッグデータを活用した先進的な混雑対策の取組等に関する財政的支援
 - ・観光バス路上滞留の解消に向けたシステム構築への支援
- ③ 違法「民泊」の根絶及び「民泊」の適正な運営の確保に向けた、国における指導監督の徹底、地域の実情を踏まえた法制度への見直し等**
 - ・国内外の仲介サイトの取締をはじめ、住宅宿泊仲介業者や住宅宿泊管理者への指導・監督の徹底
 - ・住宅宿泊事業法について、更新制の許可制度の導入や、地域の実情を踏まえた柔軟な運用が可能となるような法改正も視野に入れた課題の検討、制度見直しの推進

(例) マナー啓発をはじめ、日本全体で持続可能な観光の実現を目指す取組として、「ENJOY RESPECT JAPAN (仮)」を実施

京都における観光を取り巻く諸課題への対応策として蓄積されたノウハウを、他地域での取組のモデルケースとして活用を！